

SDGs宣言書

2022年11月29日



荒川建設株式会社 代表取締役 荒川 郷史

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	温室効果ガス排出低減	CO ₂ 排出量削減とエネルギー使用量の削減を推進します。	① 各工事用車両のエネルギー使用量の把握と削減	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	13 気候変動に具体的な対策を
			② 2028年度までにCO ₂ 排出量8%削減	12 つくる責任 つかう責任 	
環境・経済	循環型社会に適した製品の提供	自然環境を保護・整備しながら、環境配慮型製品を提供します。	① 放置竹林を間伐・整備し、間伐材を原料として利用	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	13 気候変動に具体的な対策を
			② 2024年度までに不要となった竹材を集成材として提供	12 つくる責任 つかう責任 	
環境・経済	工事用車両・社用車の環境に対する配慮	工事用車両・社用車の環境に配慮した車両の配置を行います。	① (1)PHV・EV・FCVの導入、入替 (2)建設機械の環境型エンジンへの入替	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	
			② (1)2027年度までに導入率60% (2)2030年度までに導入率40%	13 気候変動に具体的な対策を 	
環境・社会・経済	災害時における事業リスクの防止	天災・災害時において事業を迅速に復旧・継続するため、万全の準備を整えます。	① (1)食糧・飲料水の備蓄 (2)燃料・電気のバックアップ体制	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	
			② (1)2024年度までに全社員分の備蓄 (2)2024年度までに備蓄体制を完了	11 住み続けられるまちづくりを 	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。